

■ 研究部レポート

バードウィーク企画 身近な野鳥たちの子育てを語りあう会

昨年は5月11日(水)の午後に室内例会として実施したものの第2弾です。今回は「身近な野鳥・スズメとツバメの物語」ということで、講演会形式にしましたが、今回は、参加者がいろいろな情報を語り合う形で行います。庭の巣箱のシジュウカラ[写真]、我が家のツバメ、近所の公園でのツミの繁殖などなど。場所は会場費のかからない当会事務所で、土曜日の午後、アンニュイな時間にお茶でも飲みながらのんびりという趣向です。当日午前中は、「スズメ調査探鳥会 in HIBIYA・5」を開催しますので、昼食後そのまま地下鉄一本でということも可能です。とりあえず、事務所探訪のつもりでも結構です。気楽にご参加ください。デジタルプロジェクターの準備もしていますので、デジカメの写真も披露できます。

日 時：2012年5月12日(土)午後2時～4時
場 所：日本野鳥の会東京・事務所
参加費：無料 申込み：不要・ただし先着20名



[青木秀武氏撮影]

越冬期の調査から 調査に参加された方に感謝します

今冬の越冬期調査では、任意の報告のほか、1月中に東京湾岸の11か所の水辺の調査も行い、おおまかな傾向を知ることができました。詳細な記録はべつの機会にお知らせするとして、特徴的な状況を紹介します。他に気づいたことがありましたらお寄せ下さい。

1. 東京港一帯で、ユリカモメの数が少なかった。報告例：中央防波堤1月22日：180羽
2. 葛西臨海公園沖のスズガモの個体数が少なかった：1月22日のカウント数：5479羽
3. ツグミの飛来定着時期が遅かった。年明けからは徐々に増え例年並みになったが。
4. 善福寺川にハクセキレイが60羽：今回の報告の中で、とくに私が興味を持った記録は、西村眞一・智明さん親子からの善福寺川全流調査の中でのハクセキレイのカウント数。

善福寺川は杉並区の善福寺池から始まり、中野区地下鉄丸ノ内線中野富士見町駅付近で神田川と合流する、全長10.5kmの、荒川水系の一級河川。川幅は10m程度で3面コンクリート張り。周辺は住宅地や緑地が続く、都市型小河川。西村親子は、1月27日(金)朝9時39分～午後1時31分で踏査。71の橋ごとに数え、それをまとめたらハクセキレイが60羽もいたとのこと。その他の記録は下記のとおり。気温2℃のなか、お疲れ様でした。

【カウント記録】 カワウ1、ダイサギ2、コサギ4、カルガモ91、コガモ17(♂12♀5)、オナガガモ174(♂108♀66)、ハシビロガモ2(♂1♀1)、キンクロハジロ7(♂1♀6)、キジバト3、コゲラ2、キセキレイ8、ハクセキレイ60、ヒヨドリ41、ツグミ2、シジュウカラ3、メジロ9、スズメ53、ムクドリ31、オナガ3、ハシボソガラス1、ハシブトガラス7、ドバト69。以上21種類580羽

【調査報告者・協力者】 飯田陳也、飯島滋哉、大塚 豊、落合はるな、金井 裕、掛下尚一郎、粕谷和夫、川沢祥三、川内桂子、川内 博、北村 亘、久保賢一、神山和夫、小林博美、小島みずき、斉城信夫、澤祐介、鈴木弘行、田久保晴孝、谷口高司、中里昌樹、中村文夫、成井奈緒美、西村眞一、西村智明、平泉秀樹、松丸一郎、三間久豊、森 要、八王子・日野カワセミ会 [敬称略](文責・川内 博)

訂正／3月号本ページ「東京都内でのカラスのクルマ割り行動」の地図中に誤りがありました。下記のようにご訂正いたします。

誤 △：ハシボソの貝落とし □：ハシボソの車によるクルマ轢き割らせ
正 □：ハシボソの貝落とし △：ハシボソの車によるクルマ轢き割らせ